

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公表番号】特表2017-514704(P2017-514704A)

【公表日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2017-021

【出願番号】特願2016-518119(P2016-518119)

【国際特許分類】

B 2 4 D 11/00 (2006.01)

B 2 4 D 3/28 (2006.01)

B 2 4 D 3/00 (2006.01)

B 2 4 D 15/04 (2006.01)

【F I】

B 2 4 D 11/00 B

B 2 4 D 3/28

B 2 4 D 3/00 3 5 0

B 2 4 D 15/04 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月23日(2018.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 及び第 2 の対向する主表面を有し、ポリウレタンを含む、一体型バックングと、  
該一体型バックング上に配置され、該一体型バックングに固定された研磨層と、を含む  
、可撓性研磨物品であって、

該バックングは、平均厚さが 4 ~ 6 m i l であり、引張強度が 5 0 0 ~ 3 2 0 0 p s i  
であり、極限伸度が 2 3 0 ~ 5 3 0 パーセントであり、

該研磨層は、

該一体型バックングの該第 1 の主表面の少なくとも一部分の上に配置されたメーク層で  
あって、該メーク層は、少なくとも 1 種のポリエポキシド及び少なくとも 1 種の多官能（  
メタ）アクリレートを含む成分の重合化反応生成物を含む、メーク層と、

該メーク層に固定された研磨材粒子と、

該メーク層及び該研磨材粒子の少なくとも一部分の上に配置されたサイズ層と、を含み  
、

前記サイズ層の前駆体は、少なくとも 1 種のポリエポキシド及び少なくとも 1 種の多官  
能（メタ）アクリレートを含む成分の重合化反応生成物を含み、

該一体型バックングの該第 2 の主表面は、該可撓性研磨物品の外側主表面を形成する、  
可撓性研磨物品。

【請求項 2】

前記研磨材粒子は、公称寸法等級が A N S I 等級 P 8 0 以下又は A N S I 等級 P 3 2 0  
以上である、請求項 1 に記載の可撓性研磨物品。

【請求項 3】

前記バックングの平均厚さは、4 . 5 ~ 5 . 5 m i l である、請求項 1 又は 2 に記載の  
可撓性研磨物品。

**【請求項 4】**

前記可撓性研磨物品は、半透明である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の可撓性研磨物品。

**【請求項 5】**

前記サイズ層の少なくとも一部分の上に配置されたスーパーサイズ層を更に含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の可撓性研磨物品。

**【請求項 6】**

前記バックリングは、最大引張強度が 1 0 0 0 ~ 2 5 0 0 p s i であり、最大極限伸度が 3 0 0 ~ 4 6 0 パーセントである、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の可撓性研磨物品。

**【請求項 7】**

第 1 及び第 2 の対向する主表面を有し、ポリウレタンを含む、一体型バックリングと、  
該一体型バックリング上に配置され、該一体型バックリングに固定された、研磨層と、を含む、可撓性研磨物品であって、

該一体型バックリングは、平均厚さが 4 ~ 6 m i l であり、

該研磨層は、

該一体型バックリングの該第 1 の主表面の少なくとも一部分の上に配置されたメーク層であって、該メーク層は、少なくとも 1 種のポリエポキシド及び少なくとも 1 種の多官能（メタ）アクリレートを含む成分の重合化反応生成物を含む、メーク層と、

該メーク層に固定された研磨材粒子と、

該メーク層及び該研磨材粒子の少なくとも一部分の上に配置されたサイズ層と、を含み、

前記サイズ層の前駆体は、少なくとも 1 種のポリエポキシド及び少なくとも 1 種の多官能（メタ）アクリレートを含む成分の重合化反応生成物を含み、

該一体型バックリングの該第 2 の主表面は、該可撓性研磨物品の外側主表面を形成し、

該可撓性研磨物品は、引張強度が 4 0 0 ~ 2 4 0 0 p s i ( 2 . 8 ~ 1 6 . 5 M P a ) であり、極限伸度が 1 8 0 ~ 3 8 0 パーセントである、可撓性研磨物品。